



9月23日は、国連が定めた「手話言語の国際デー」です。この日、世界ろう連盟が実施する「ブルーライト・チャレンジ」に合わせた催し



▶ライトアップした石段の前で  
実行委員の皆さんと

が、渋川市聴覚障害者福祉協会などの団体で組織する実行委員会により、渋川市でも実施されました。

夕方、伊香保温泉だんだん広場に関係者が集まってカウントダウンをし、点灯式を行いました。会場には、観光客も含めて多くの人々が集まり、日没とともに徐々に鮮やかなブルーに染まっていく石段を眺めながら、時折手話を交えて笑顔で語り合っていました。私も手話仲間に助けってもらいながら、楽しいひとときを過ごしました。

伊香保温泉は、全日本ろうあ連盟が結成された地として、聴覚に障害がある人の聖地となっています。また、バリアフリーガイドマップや手話で巡る伊香保温泉マップも作成されていて、さまざまな障害のある人たちに優しい温泉地です。

猛暑が過ぎ去り、「小さい秋」を感じながら、石段のブルーライトを見上げてみました。青い光の道は、まるで、誰一人取り残さない「共生社会実現のまち渋川市」の道しるべのように見えました。